

学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立真玉小学校

②思考力、判断力、表現力等の育成の取組

取組の具体①

○本校は、一昨年度まで2年間にわたり、文科省「カリキュラム・マネジメントの在り方研究」の指定を受け、子どもにつけたい資質・能力として「課題探究能力(発見・追究・解決)」と「クリエイティ力(自己創造・自己決定・一人学び)」の向上をめざし、思考力、判断力、表現力等の育成の取組を推進しています。

「iPad等の思考・判断・表現ツールを活用した授業づくり」

・1年生から一人一台の端末を活用した学びの時間を確保し、課題解決のための検索や調査活動を行ったり、整理した資料をもとに話し合いや説明をしたりする活動を積極的に授業に導入しています。

「iPad等端末による個別最適な学び力の育成」

・端末に導入されたドリルパークや「まるぐらんど」活用による個別対応学習やロイロノートによる資料活用学習、また、Zoom等オンラインの操作による学び方学習を通して、自分の考えをわかりやすくまとめたり、互いに考えを交流し合ったりする学習の場づくりや学びに向かう姿勢を育成しています。

「iPadを活用した授業」



「ロイロノートを活用した授業」



取組の具体②

「思考ツールを活用した学び力向上」

・自分の思いや考えをわかりやすく伝えるための思考ツール「真玉っ子 学びのすすめ」を児童会の行動目標に立て、授業や集会・児童会活動等において、「考えよう。伝えよう。そして行動しよう。」のスローガンのもと、常に、相手を意識して伝える取組を行っています。

「ハンドブックを活用した学び力の向上」

・友だちに「わかりやすく説明できる」までに必要な手立てや工夫について学ぶため、3年生から県教委配布資料「言語能力育成ハンドブック」を活用した授業を行い、読みを素早くしたり、整理やまとめをすっきりさせたり、話し合いをスムーズにしたりできるよう取組をすすめています。

「説明の場を活用した学び力向上」

・表現力を発揮する場として、iPad等端末を使ったプレゼン説明やホワイト小黒板を活用したり、お互いの考えを交流する時間(対話場面の活用)を設けたりと、学び合いや教え合いができる「学び発表の環境づくり」を推進しています。

「プレゼン説明授業」



「対話場面の活用」



学力向上に効果のある取組事例

豊後高田市立真玉小学校

②思考力、判断力、表現力等の育成の取組

取組の具体③

「夢チャレンジノートによる自主学習能力育成」

- ・3年生から、家庭と学校における持続可能な学びを構築するため、3年生以上全児童に「夢チャレンジノート」を配布し、「学びの手引き」や「自主学習の手引き」をもとに、発達段階に応じた学習内容の習得や発展学習を行っています。

「夢チャレンジノート展示による学びに向かう力の育成」

- ・学習し終えた夢チャレンジノートを常時閲覧できるようにするとともに、展示会を年間3回実施し、子ども同士で見合わせたり、学習の参考にしたりすることで学びの質を高める取組をしています。また、地域の方々や保護者の方々にも学校公開日等で来校した際に見ていただき、その意見や感想を取組に反映しています。

「教科担任による夢チャレンジノート活用授業」

- ・3年生以上理科専科教員による教科担任制を導入し、授業で学んだ学習内容のふりかえりや発展的な調べ学習等を「夢チャレンジノート」の場で広げたり、深めたりしています。

3年以上 「夢チャレンジタイム」



3年以上 「夢チャレンジノート展」



3年以上 「理科専科授業」



取組の具体④

「学習課題と夢チャレンジプリントと連動した学び力向上」

- ・廊下に「夢チャレンジプリントコーナー」を設置し、1年間の学習を見通したプリントを用意し、自習時間や放課後の時間等の自主的な学びができる環境づくりを進めています。
- ・それぞれの学年で既習の学習内容や前年度のふりかえりの学習内容にもチャレンジできるようプリントを用意し、できるかぎり、自主的に採点や答え合わせができるよう、指導・支援しています。

「学びの21世紀塾と連動した学び力向上」

- ・本校では、市が運営する「学びの21世紀塾」と連携して、毎月隔週に「算数夢チャレンジ講座」「iPad活用講座」「英会話講座」を開講し、各講座での学び方と学校での学び方が連動する指導内容づくりをすすめています。

「夢チャレンジプリント」 「常用 iPad 通用棚」



「学びの21世紀塾-iPad活用講座」

